



令和6年度 第5回さつき学級

「今の自分を全うする」



1月24日(金)弥富交流促進センターで、第5回目のさつき学級を開催し、29名の参加がありました。今回は、全柳寺 住職 山本昌男 様に、「今の自分を全うする」というテーマで、ご講演いただきました。

お話では、上所重助の詩と道元禅師が著した「正法眼蔵」の一部を紹介され、広島県の因島で、8年間住職をされていたときのことや東京に居られたときのエピソードも交えながら、皆さんに分かりやすくお話をされました。

エピソードの一つとして、因島の前住職の奥さんとの思い出をお話され、冬になるといつも奥さんが「冬は何でこんなに寒いのか、早く暖かい夏になればいいのに。」と言われ、夏になると「夏は何でこんなに暑いのか、早く冬になればいいのに。」と言われたそうです。皆さんも「言われてみればその通り。」と思われた様子で、「うんうん。」と、うなずかれています。

因島に居られたときの門徒さんとの素敵なエピソードもお話されました。その地区でも評判の良い気の優しいおじいちゃん、いつも三輪自転車でお孫さんの保育園への送迎をされていたそうです。そのおじいちゃんが亡くなられたとき、息子さんが「お金や土地の遺産はなかったけど、親父のようにになりたいと思える心の遺産を残してくれました。」とおっしゃったそうです。お金や土地と同じように「心の財産」も同じ！そんな財産を残せるような人になって、人生を全うできたらいいですねとお話をされました。

最後に上所重助の詩と「正法眼蔵」を訳しながら読まれ、美空ひばりの「悲しい酒」も歌っていただき、皆さん「良い話が聞けて良かった。」「歌も上手やったね。」「またお話が聞きたい。」と大変満足された様子でした。

～上所重助の詩の一部～

「どうして自分を見つめないのか 静かに考えてみるがよい 一体自分とは何なのか 先生のおかげ 世間さまのおかげの魂が自分ではないのか 自我妄執を捨てて 得手勝手をつつしんだら世の中はきっと明るくなるだろう おれがおれが捨てて おかげおかげでと暮らしたい」

